

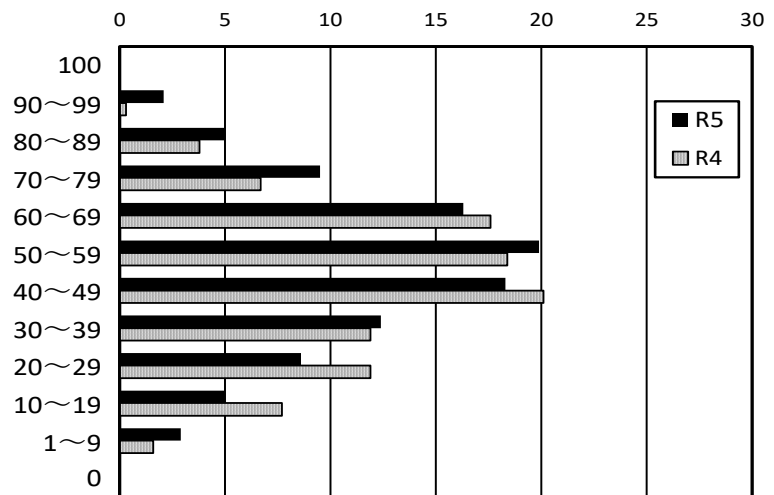
数 学

1 得点分布及び大問ごとの正答率

〈表1〉得点分布

得点	割合 %	R 5 %	R 4 %
100	0.0	0.0	0.0
90～99	2.1	0.3	0.3
80～89	5.0	3.8	3.8
70～79	9.5	6.7	6.7
60～69	16.3	17.6	17.6
50～59	19.9	18.4	18.4
40～49	18.3	20.1	20.1
30～39	12.4	11.9	11.9
20～29	8.6	11.9	11.9
10～19	5.0	7.7	7.7
1～9	2.9	1.6	1.6
0	0.0	0.0	0.0

〈グラフ〉得点分布



*合格者の中から、無作為に抽出した619人(20.0%)の結果である。

〈表2〉大問別の正答率の経年比較

大問	主な内容	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	小問集合	81.4	82.2	77.3	70.9	70.3
2	資料の活用など	43.6	58.4	51.9	37.1	59.4
3	関数 平面図形 空間図形	平 40.3	関 46.7	関 40.5	関 53.8	関 42.9
4		関 39.2	平 38.0	平 31.9	平 28.5	平 29.1
5		空 31.3	空 30.1	空 30.0	空 22.4	空 31.4

2 分析結果の概要

合格者の数学の平均点^(※)は、52.1点で、昨年度と比べ上昇した(昨年度48.5点)。

(※)平均点は全日制すべての合格者3,094人のものである。

〈表1〉に関して、50点台の人数が全体の19.9%で最も多い(昨年度は、40点台で20.1%)。70点以上の人数は全体の16.6%で、昨年度に比べ増加した(昨年度10.8%)。40点未満の人数は全体の28.9%で、昨年度に比べ減少した(昨年度33.1%)。

〈表2〉について、**2**、**4**、**5**の正答率は昨年度より高かった。

「3 小問ごとの学年・領域、出題内容・ねらい、正答率」について、正答率80%以上の問題数は7問で、昨年度に比べ増加した(昨年度4問)。正答率40%未満の問題数は10問で、昨年度と同じであった(昨年度10問)。

1の(8)の作図の問題の正答率が25.8%と低かった(昨年度11.4%)。

2の2の連立方程式の問題では、(2)の与えられた分量の食材を使って何人分の料理が作れるかを求める問題の正答率が①46.0%、②49.3%と低かった。

3の関数では、**2**(1)の線分の長さを t を用いて表す問題の正答率が22.0%、**2**(2)のグラフ上の点を結んでできる四角形が正方形となる時の頂点の座標を求める問題の正答率が13.2%と低かった。

4の平面図形では、**2**(3)の三角形の面積を求める問題の正答率が1.7%と低かった。

5の空間図形では、**3**の図形の面積を求める問題の正答率が11.5%、**4**の立体の体積を求める問題の正答率が2.3%と低かった。

3 小問ごとの学年・領域、出題内容・ねらい・正答率

大問	小問	学年・領域	出題内容・ねらい	正答率 (%)												
				0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
1	(1)	1学年	負の整数と正の整数の加法ができる。	97.4												
	(2)	1学年	負の分数と正の分数の乗法ができる。	93.2												
	(3)	3学年	根号を含む式の計算ができる。	87.1												
	(4)	2学年	等式の変形ができる。	72.7												
	(5)	2学年	連立方程式を解くことができる。	86.6												
	(6)	3学年	二次方程式を解くことができる。	31.0												
	(7)	2学年	箱ひげ図からデータの傾向を読み取ることができる。	68.7												
	(8)	1学年	回転移動の中心を作図することができる。	25.8												
2	1	(1)	2学年	特定の事象の確率を求めることができる。	85.7											
		(2)	2学年	事象の起こりやすさを確率を用いて説明をすることができる。	52.2											
	2	(1)	1学年	誤りのある式を正しい式に直すことができる。	68.3											
		(2)	2学年	連立方程式を利用して、与えられた分量の食材を使って何人分の料理が作れるかを求めることができる。	46.0											
3	1	(1)	3学年	点の y 座標を求めることができる。	84.3											
		(2)	3学年	直線の式を求めることができる。	59.5											
	2	(1)	3学年	線分の長さを t を用いて表すことができる。	22.0											
		(2)	3学年	グラフ上の点を結んでできる四角形が正方形となる場合のひとつの頂点の座標を求めることができる。	13.2											
4	1	3学年	角の大きさを求めることができる。	68.8												
	2	(1)	3学年	三角形の相似を証明することができる。	32.1											
		(2)	3学年	角の二等分線と線分の比の性質を用いて線分の長さを求めることができる。	19.8											
		(3)	3学年	相似な図形の性質を用いて三角形の面積を求めることができる。	1.7											
5	1	1学年	ねじれの位置にある直線の本数を求めることができる。	82.9												
	2	3学年	三角形の面積を求めることができる。	29.0												
	3	3学年	線分が動いてできる図形の面積を求めることができる。	11.5												
	4	1学年	三角形が動いてできる立体の体積を求めることができる。	2.3												